特定非営利活動法人

チャレンジ企業支援隊　会報

Global Management Supporting Partners (GMS)

会報Ｖｏｌ．５　H19年８月５日
発行：理事長　成田欽史郎
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　0742-44-9071
編集（広報担当）：理事　馬場英彦
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　0743-75-1685
Ｅ－Ｍａｉｌ　bamba@m4.kcn.ne.jp
URL:　www.npo-gms.com

各部会の運営方針

チャレンジ企業支援隊では３つの部会を中心に活動を展開しているが、各部会の方針と取り組みの状況について各部会長から紹介する。

１）ヒューマン・リソース・マネジメント部会

（ＨＲＭ部会　部会長（理事）：山崎健一郎）

２００７年度は、会員のご協力もいただきながら、次の２つの事業を中心に部会の活動を推進してゆきたいと思っている。

１．キャリア教育の支援活動

ニートやフリーターの増加など、若者たちの「働き方」や「働く意欲」をめぐり、深刻な社会問題を提起している。このような社会情勢を背景に昨年度からスタートした追手門学院大学での「キャリアデザイン論」の実績を活かし、今後小学校・中学校・高等学校における「キャリア教育」にも貢献する事を模索してゆきたいと考えている。

①　大学におけるキャリア教育



昨年度に引続いて、追手門学院大学の「キャリアデザイン論」をＧＭＳの会員４名が担当する。

＜実施時期＞　２００７年度秋学期（９月～１月）

＜講義回数＞　１５クラス×１２回=１８０回

＜担当講師＞　池田順治・島田幸七・渋谷武志

・　中尾都史子

今年度は、更に新しいプログラムとして、講師が塾長になって「実践塾」を開講する予定である（詳細は後述）。

②　小学校・中学校・高等学校のキャリア教育への講師派遣

ＧＭＳとして「大阪キャリア教育支援ステーション」の活動に賛同し、賛助会員に登録。あわせて団体として、「社会人講師の派遣」登録を行った。

今後、講師派遣の要請があった時は、会員各位に案内した上で、協力をお願いする予定である。

講師登録の詳細は、大阪キャリア教育支援ステーションのホームページから「社会産業ドキドキ！体験サイト」をご覧ください。

ＵＲＬ　ｈｔｔｐ：//www.career-osaka.jp

③　中小企業への支援活動

中小企業が今後更に活性化を図り発展してゆく為には、新しい市場の創造や、商品・技術面で他が追随出来ない特徴を持つ事が、大きな課題となってきている。そのためには、優秀な人材の確保・定着・育成が大変重要になってきている。このような観点から、経済産業省でも都道府県の「中小企業団体中央会」への支援を始めている。

ＧＭＳとして人材確保をテーマに、本年４月「奈良県中小企業団体中央会」と「大手電機メーカーの再就職支援センター」の責任者との情報交換会を実施した。

これは中小企業の「求人情報」と大手企業の「団塊世代の退職者」を結びつける試みであり、双方にとって大変有意義な情報交換が出来た様に思う。

今後ＧＭＳとして、人材育成等を含めてどの様な支援が出来るか、検討してゆく計画である。

ヒューマンリソース分野の活動をＨＲＭ部会として独立させて１年半が経過した。今回、中尾都史子理事にＨＲＭ部会の副部会長に就任いただくこととなった。今後他の部会とも連携し、活動を充実してゆく予定であり多くの会員各位の参加を期待している。

２．追手門学院大学「実践塾」の開講

キャリアデザイン論に加えて塾長（講師）による実践塾を提案し実施が決定した。



＜実践塾の狙い＞

①　キャリアデザイン論での学びを発展させる。

②　自ら考え、行動し、人とのかかわりの中で学ぶ態度を身につける。

②　企業ＯＢの生き様を通して、自らのキャリア形成を考える。

③　学生と企業（社会）をより身近なものにする。

＜実践塾の運営＞

対象学生数：１塾あたり８名×塾長４名=３２名

２年生の中から募集する。

＜期間＞

６月～１０月（４回)、１１月学外、１２月発表

＜基本テーマ＞

第１回　塾長は学生時代を如何に過ごした？

第２回　塾長は大学３～４年の時に職業選択をどの様に決断したか？

第３回　就職（または自営業）してから、どの様な考え方で仕事に取り組んで来たか？

第４回　塾長の人生観について語る。

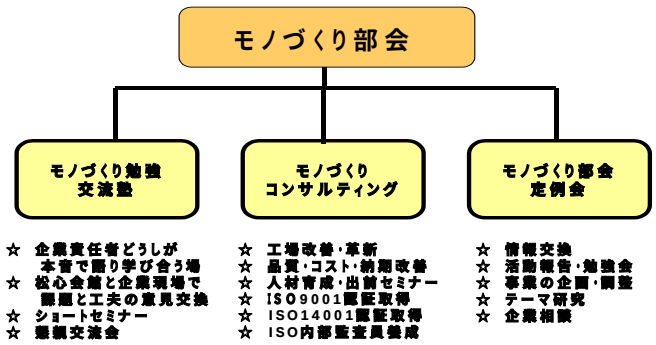
第５回　学外見学

第６回　学外見学について、発表と意見交換

２）モノづくり部会

（モノづくり部会　部会長（理事）：　中村　顕）

モノづくり部会では、モノづくり勉強交流塾、モノづくりコンサルティング、モノづくり部会定例会の３本柱を軸とし、部会員をはじめより多くの会員が連携し協働することにより、それぞれの活動をより充実したものにしてゆきたい。



①モノづくり勉強交流塾

法人会員を拡大（２０社目標）するとともに、参加者の満足度を更に高めるよう会員と連携し、運営上の工夫をしてゆきたい。また参加企業の悩みや課題の具体的な解決を通して、中小・ベンチャー企業支援の実をあげてゆきたい。



- 今年度の開催：３回（7月,10月,1月）
- 参加企業数:６社以上
- 具体支援への展開 2社以上。

②モノづくりコンサルティング



モノづくり勉強交流塾の活用、法人会員であるﾋｭｰﾏﾝｻﾎﾟｰﾄ社等との連携及び地域中小企業支援団体との協働等により、支援を希望している中小・ベンチャー企業を発掘し、具体支援実績を増やすとともに、より多くの部会員が参画できるよう支援機会の創出に努めたい。

（目標）具体支援企業数：４社

出前セミナー：現場改善セミナー：３回

ISO9001 関係：　１回

ISO14001 関係：　1 回

③モノづくり部会定例会

２ヶ月おきに開催し、従来の運営とともに、特に本年度は、GMS 自前の新商品の企画開発についてもさらに論議を深めてゆく計画である。

３）マーケティング部会

（マーケティング部会　部会長（理事）：馬場英彦）



マーケテイング部会では、毎月第１木曜日の午後６時より、大阪市立デザイン教育研究所（D研）の所長室をお借りして、定例部会を開催、すでに３５回の部会を重ねてきた。ここでは創業間もない企業を中心に特別ゲストとしてお招きして、約１５名のメンバーが、それぞれの立場から企業へのアドバイスを行い、マーケテイングに関する相互交流と実践的課題解決に取り組んでいる。

本年度の主な取組項目は下記の通りです。

①　奈良県を中心に、地域資源を活用した、お土産物や独自性のある商品開発を始め、新しいビジネスモデル構築への支援、並びに企画・デザイン提案活動。

②　企業ブランドイメージづくりから、カタログ・販促ツール・HP 等の企画・デザイン・写真撮影・制作支援。

③　産学連携（D研学生）によるブランドイメージの構築や新製品の開発デザイン提案。

④　近畿経済産業局主催の、「販路ナビゲート事業」には、発足当初より協力。H19年は、スクリーニング体制強化に伴い、専門家を登録して協力。さらに、NBKが推進するブラッシュアップ事業にも参加。

⑤　(社)関西ニュービジネス協議会(NBK)が事業推進母体となりNPO法人チャレンジ企業支援隊が事業実施責任を担う連携体で、「地域資源活用事業化コーディネート事業」の支援策に対し「毛皮革製品のリフォームによる新サービス開発事業」の取り組みについて、NBKの指導を頂き事業計画を中小機構に申請。

⑤　講演ゼミの企画・講師選定・交渉調整などの一環支援。

第一回ＧＭＳセミナー開催

６月１３日午後、**「内部統制　日本版ＳＯＸ法のイ・ロ・ハ」**のテーマで、ＧＭＳがはじめて主催する定例セミナーを、社団法人関西ニュービジネス協議会（NBK）と特定非営利活動法人ジャパン・リーガル・パートナーズ（JLP）の後援を得て、松心会館で開催した。



講師は、当法人の会員で、上場企業の経理体制整備と内部統制構築運用に実績のある公認会計士の松島先生で、講演後の質疑の時間では、松下電器で約２年間このテーマの実務面の担当実績のあるＧＭＳ石田事務局長もパネラーになり、熱心な質疑が行われた。

当演題は、2008年4月1日より上場企業に適用が義務付けられており、「待ったなし」の状況にあり、２４名の参加者は熱心に勉強した。

しかし、法律で導入が義務付けられているものの、多くの企業の現場では、何からどう手を付けて良いのか、見当がつかない状況にあり、多くの上場企業や上場準備中の企業が未だ具体的な対応に取り掛かれていないところに問題がある。

その意味で、先ずは何をしたらよいかのきっかけつくりにするという意味で、役に立つセミナーであったと思われる。

【セミナーの主な内容】は、

- ◆　日本版ＳＯＸ法の基本構造・特徴点の理解
- ◆　実施基準の概要解説
- ◆　内部統制の整備・運用における実務上の留意点
- ◆　監査法人との関わり方・交渉方法

参加者は、メーカーは勿論であるが、中小企業診断士など、日頃中小企業の経営指導に携わっている士業者も多数参加、関心の高さが窺われた反面、目標の３０名に満たず、その面では、今後の運営に工夫が必要と思われる。

デザイン起業論講義スタート

（大阪市立デザイン教育研究所）

担当：馬場理事、柏木理事、宮本准教授

デザイン活動は、企業や事業活動との関係を抜きには存在しえないものであり、この観点からチャレンジ企業支援隊は産学連携を通じて学生たちに生きた体験の場を提供してきた。



昨今、「いつか、自分で起業したい」という学生がポツポツと出始めたことは大変喜ばしいことである。

そこで、3年前から取り組んできた産学連携のデザイン実践活動を、さらにもう一歩すすめたカリキュラムを試験的に導入した。これは起業を目指す学生が、会社を創業する精神や具体的な方法を学び、実践するだけでなく、企業に就職する学生も含め、デザイナーとして、クライアントとのコミュニケーション能力の向上を目指し、事業経営者の視点を体験的に学ぶことを重点においたものである。



若い起業経験者の体験発表や起業を支援する専門家による講義などを織り交ぜた講座となっている。特に今年は、具体的に会社を立ち上げるノウハウを、行政書士である柏木理事の協力を得て実現することが出来た。平成19年度の第1回卒業生の成果発表は,大変充実した内容で、日刊工業新聞、奈良新聞にも取り上げられ学生たちにも大きな励みとなった。



奈良みやげ物創出プロジェクト

担当：馬　場　英　彦



奈良県商工労働部（商工課・地域産業振興係）では、昨年度（平成１８年）より、奈良のお土産物を活性化し、三重県の赤福餅に続くような、地域を代表する名物お土産の開発に力を入れてきた。奈良県下で応募のあった企業（３３企業）から審査の結果１３企業が選定され、当 GMS と奈良県デザイナー協会の２事業団体が、専門家派遣によるお土産物創出支援に乗り出した。GMS は６社のお土産物の企画・デザインを担当し、上の写真のような魅力あるお土産物が誕生寸前の段階に来ている。今後の発売をご期待下さい。

- **香り立つ大和／香立て**（赤膚焼窯元　大塩昭山）
- **大和鈴／土鈴**（青垣授産所）
- **あかい奈良クッキー「三彩菓」／焼菓子**（グループ丹「あかい奈良」）
- **ふふふのふうちゃん／焼菓子**（千葉製麩商店）
- **大和おづる／乾麺**（麺匠の勝太郎）
- **チャッピー岡本のカブリモノ変心塾　奈良のカブリモノ／カブリモノ制作キット**（イメージマーケット）



（きてみてならショップや代官山　ｉスタジオで展示・テスト販売）

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★

新任理事自己紹介コーナー

理事　古瀬　利夫



今から３年半前のことです。そろそろ、４０年に亘るサラリーマンという職業生活に終止符を打ち、第二の人生について健康維持、ボランティア、趣味等に加えこれまでの経験を生かせる「何か」を考え始めていました。ちょうどその頃、「松下電器ＯＢ、中小企業ベンチャー支援のＮＰＯを設立」の新聞記事が目にとまりその理念に深く共鳴し、リタイアしたらこれに参画したいと思いました。それから１年後、退職した翌月の１７年１１月に第二キャリア（生涯現役）に向けた新たな出発と位置づけＧＭＳに入会しました。ＧＭＳも４年目を迎え様々な分野で多様な活動が展開されています。入会後、日も浅く、たいした活動も出来ていないのですがこの度、はからずも理事に選任されてしまいました。

知恵がないので、せめて汗をかこうかと思います。よろしくお願いいたします。

理事　辻谷　槙弘



私は長年育て上げたデザイン会社の全てを譲り、ゼロからの出発を機として、良き先人のご紹介で 2000 年６月ＧＭＳに入会させていただきました。

社会人になってからＸ年間ひたすらデザインの仕事を続けてきましたが、他の世界には全く無知でしたから、入会以来多士済々の会員の方々にお会いして様々な耳新しいお話を聞くと興味津々とても刺激的で勉強になっています。

この度はからずも理事に選任されて「そんな才覚も自信も無いのに・・・」と一寸悩みましたが「こんな私でお役に立てるようなら頑張ってみよか」と決心致しました。デザイン稼業でいたずらに馬齢を重ねてきた兎年男ですが。会員諸兄姉のみなさま、どうかご教導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

理事　南部　英治



学生の頃より海外での生活に興味があり松下エコシステム入社後一貫して海外への事業移管、海外でのモノづくりに取り組んで来ました。現地駐在もフィリピン、香港、中国、マレーシアと 20 年近くになり、家族で海外生活を楽しんでいました。海外での仕事、生活を通じて学んだこと、例えば支援先の体制作り、事業企画の立て方、工場の管理手法、現地スタッフとのコミュニケーションなどを次の世代の起業家に伝えることが出来ればと考えております。また GMS では事務局を担当しています。皆さんのお役に立てればと思っておりますので遠慮なくご利用ください。趣味は読書、映画鑑賞。